

平成27年10月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,718,378	195,983	1,426,881	52.5%	1,291,497		
1. 営業収益	2,295,737	192,113	1,398,230	60.9%	897,507		
1. 給水収益	2,260,332	191,483	1,371,117	60.7%	889,215		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	35,405	630	27,113	76.6%	8,292		
2. 営業外収益	421,760	3,786	27,633	6.6%	394,127		
3. 特別利益	881	84	1,017	115.4%	△ 136		
9. 水道事業費用	2,436,738	61,965	600,760	24.7%	1,835,978	830,226	34.1%
1. 営業費用	2,121,988	61,944	476,484	22.5%	1,645,504	705,733	33.3%
1. 原水及び浄水費	420,983	22,486	174,909	41.5%	246,074	251,390	59.7%
2. 配水費	284,777	12,559	95,354	33.5%	189,423	136,795	48.0%
3. 給水費	101,504	6,647	60,971	60.1%	40,533	71,145	70.1%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,009	13,075	81,310	50.2%	80,699	154,388	95.3%
6. 総係費	148,288	7,177	63,866	43.1%	84,422	91,942	62.0%
8. 減価償却費	974,327				974,327		
9. 資産減耗費	30,100		73	0.2%	30,027	73	0.2%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	293,027		123,948	42.3%	169,079	123,948	42.3%
3. 特別損失	1,723	22	329	19.1%	1,394	545	31.6%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	3,006,208	1,425	14,290	0.5%	2,991,918		
1. 企業債	1,646,800				1,646,800		
2. 負担金・補償金	56,528	173	6,352	11.2%	50,176		
3. 補助金	541,847				541,847		
4. 出資金	745,967				745,967		
5. 加入金	15,066	1,253	7,938	52.7%	7,128		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	4,071,062	11,943	388,005	9.5%	3,683,057	3,095,943	76.0%
1. 建設改良費	3,438,955	11,943	74,574	2.2%	3,364,381	2,782,512	80.9%
1. 取水施設整備費	761,076				761,076	759,618	99.8%
2. 導水施設整備費	188,460				188,460	188,460	100.0%
3. 浄水施設整備費	90,688				90,688	27,540	30.4%
4. 配給水施設整備費	2,395,707	11,943	74,574	3.1%	2,321,133	1,804,264	75.3%
5. 管理施設整備費							
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,630	87.0%
2. 企業債償還金	632,107		313,431	49.6%	318,676	313,431	49.6%
12. たな卸し資産購入限度額	61,481	2,413	19,531	31.8%	41,950	47,786	77.7%
①有収水量	8,069,200	670,059	4,842,655	60.0%	3,226,545		
②供給単価	280.12	285.77	283.13	101.1%	△ 3.01		
③給水原価	258.40	92.45	123.99	48.0%	134.41		
人件費	705,323	15,734	323,192	45.8%	382,131		
1. 収益的収支	674,567	13,809	305,511	45.3%	369,056		
1. 職員給与費	200,537	13,809	109,011	54.4%	91,526		
2. 特別職(報酬、賃金等)	474,030		196,500	41.5%	277,530		
2. 資本的収支	30,756	1,925	17,681	57.5%	13,075		
* 職員給与費	231,293	15,734	126,692	54.8%	104,601		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.9%	7.2%	8.0%				
2. 全職員	10.2%	8.2%	9.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	40,591,166	40,661,523	70,357	
*減価償却累計額	17,426,310	17,426,310		
B. 流動資産	3,022,987	3,114,961	91,975	
1. 現金預金	2,712,061	2,546,828	△ 165,233	
2. 未収金	276,762	217,808	△ 58,954	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	31,372	△ 2,601	
5. 前払費用・前払金	190	277,543	277,353	工事前払金等
6. その他		41,410	41,410	仮払消費税
D. 水道事業費用		575,327	575,327	
1. 営業費用		451,073	451,073	
2. 営業外費用		123,948	123,948	
3. 特別損失		306	306	
1. 借方合計=A+B+C+D	46,840,757	47,578,415	1,015,011	
E. 固定負債	10,686,104	10,686,104		
1. 企業債	10,368,059	10,368,059		
2. 引当金	318,045	318,045		
F. 流動負債	1,098,533	497,961	△ 600,573	
1. 企業債	632,104	318,673	△ 313,431	H27年度償還元金
2. 未払金	394,775	17,754	△ 377,022	未払消費税含む
3. 前受金	77	83	6	
5. 引当金	69,681	55,000	△ 14,681	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定	1,197		△ 1,197	
6. その他	699	106,451	105,752	
うち仮受消費税		104,137	104,137	
G. 繰延収益	8,983,550	8,997,252	13,702	
1. 長期前受金	8,983,550	8,997,252	13,702	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,226,604	3,226,604		
H. 資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	
1. 自己資本金	6,026,688	8,624,057	2,597,369	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,619,071	22,900	△ 2,596,172	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,596,172		△ 2,596,172	
K. 水道事業収益		1,323,331	1,323,331	
1. 営業収益		1,296,662	1,296,662	
2. 営業外収益		25,727	25,727	
3. 特別利益		943	943	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	46,840,757	47,578,415	737,658	

a. 供給単価(円、銭)	262.16	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	118.74	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	240.49	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	77.50%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	85.65%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	625.54%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	511.45%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成27年 10月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,611	214,525	214,000	212,852	525	1,673
2 調定水量	m ³	665,815	4,812,821	4,791,600	4,811,543	21,221	1,278
3 調定料金(税抜)	円	177,299,421	1,269,552,911	1,250,600,000	1,263,255,656	18,952,911	6,297,255
4 口振加入件数	件	25,453	178,581	-	178,539	-	42

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	82,502	-	83,106	△ 604
6 給水件数	件	30,405	-	30,232	173
7 開栓処理件数	件	196	1,786	1,911	△ 125
8 閉栓処理件数	件	265	1,635	1,697	△ 62
9 給水工事設計審査	件	112	449	547	△ 98
10 給水工事竣工検査	件	66	498	631	△ 133
11 経年メーター交換	件	136	1,053	3,036	△ 1,983
12 メーター口径変更	件	2	17	43	△ 26
13 月末停止件数	件	△ 3	72	114	△ 42

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	202,214,557 円	85.25 %	202,664,287 円	85.09 %
15 過年度分	5,056,312 円	97.28 %	4,868,903 円	97.46 %
16 全 体 (計)	207,270,869 円	-	207,533,190 円	-

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	7	106	112	218

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	82/85 16/18	47/50 14/16	13/13 1/1	12/12 1/1	10/10 0/0	0/0 0/0
契約締結	一般	21 13	20 12	1 1	0 0	0 0
	指名	45 7	22 5	10 1	4 1	9 0
	随契	16 2	5 2	2 0	8 0	1 0
	合計	82 22	47 19	13 2	12 1	10 0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 2件:累計3件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	7	1	工事1件
中間検査	6	2	工事2件
合 計	13	3	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	5日	10月期 事業打合せ等
事業調整会議	6日	第8回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
経営分析会議	22日	9月期 経営概況、残高試算表、月報、監査復命
水道事業連絡会議・料金徴収等管理業務委託会議	14日	第7回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	15日	第7回 行事計画、日程調整等
水道ブラスター会議	15日	第7回 決算説明会
給水拠点設置訓練	27日	第7回 東和総合支所
例月出納検査	26日	9月期 月例監査
指名委員会	8・14・20・29日	第19回・第20回・第21回・第22回
入札	8・22日	5件・12件
緊急メールの発出	-日	漏水10

特 記 事 項

1. 10月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は191,483千円(税込)で、9月期に比べて7,832千円の減で、予算執行率(累計)は60.7%(前年度59.6%)、対前年同月比(税抜)では413千円の減となっています。また、東京電力の賠償金(水質検査手数料等)として特別利益が69千円となっています。

当期の営業費用は61,944千円の執行で、累計額は476,484千円、予算執行率(累計)は22.5%(前年度21.5%)となっております。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金173千円、水道加入金が1,253千円、累計で14,290千円、予算執行率(累計)では0.5%(前年度2.9%)となっております。

支出は、配水管移設事業に4,000千円、機器整備費2,700千円、調査設計費3,100千円、事務費に2,143千円を執行し、予算執行率(累計)9.5%(前年度15.7%)となっております。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に2,371千円、その他消耗品41千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 水道事業会計決算説明会を開催

平成26年度登米市水道事業会計決算説明会を10月14日(水)と15日(木)の2日間にわたり開催しました。対象は、水道事業所の全職員と包括業務受託者、そして2日目はブラスター会議も兼ねて水道ブラスターにも出席していただきました。

この決算から、平成23年度の地方公営企業法改正に伴う新地方公営企業会計制度が本格的に適用となったもので、前年度の内容とは単純に比較することが難しいものとなっておりますが、理解を深めることができました。

(2) 水道事業所からも出展・登米市産業フェスティバル

第11回登米市産業フェスティバルが10月4日(日)、迫体育館と中江中央公園を会場に開催されました。水道事業所では、今年も市民の皆様へ安全・安心で安定した水道をPRするために、さまざまな水道事業所の取組みを展示しました。

水道をもっと知っていただくためのクイズや簡単な漏水発見のためのメーターの見方、水道の耐震管を理解していただくためのデモ機での説明、水源である河川水の汚れを取り除く浄水場での様子を再現したジャーテスト(濁りを取るための最適な薬品注入率を測る試験)や、ろ過実験などの水道ブースには、700名を超す多くのお客様が訪れました。

また、包括委託の受託者である明電舎、お客様センター、管工事組合等の職員も、来客者に各業務の説明をしました。

水道事業所では、今後も積極的に事業の見える化を行い、お客様に信頼される水道事業を目指します。

(3) 普通救命講習を受講

水道事業所安全衛生委員会の事業として、消防署津山出張所から講師を迎え10月19日(月)、20日(火)の2日間で普通救命講習を全職員と業務受託者で受講しました。内容は、救急車が到着するまでの応急手当の基礎知識として、心肺蘇生とAEDの使い方を中心に、止血の方法や物が喉に詰まったときの除去方法等を学びました。

家庭や職場での突然の傷病者に対して、救急隊が到着するまでの間の応急手当と救命処置をできるようにすることが、この講習の目的です。

(4) 原子力防災訓練が実施される

平成27年度原子力防災訓練が10月30日(金)に開催され、所長が出席しました。市内及び市外のUPZからの受入れのための訓練が行われました。なお、水道事業についての行動訓練等はありませんでしたが、今後は分野ごとの訓練が検討課題となります。



デモ機による耐震管説明



ジャーテストとろ過実験



心肺蘇生とAED使用訓練

平成27年10月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	830,577	5,957,568	5,938,160	6,147,545	19,408	-189,977
総配水量	786,797	5,653,795	5,730,750	5,823,563	-76,955	-169,768
1 有効水量	719,559	5,186,665	5,181,670	5,263,882	4,995	-77,217
(1) 有収水量	670,059	4,842,655	4,821,000	4,842,913	21,655	-258
(2) 無収水量	49,500	344,010	360,670	420,369	-16,660	-76,359
2 無効水量	67,238	467,130	549,080	560,281	-81,950	-93,151
(1) 漏水量	66,210	461,741	544,000	555,106	-82,259	-93,365
(2) その他無効水量	1,028	5,389	5,080	5,175	309	214
3 有収率	85.16	85.65	84.13	83.16	1.52	2.49

※当月期の最大配水量は、10日(土)【26,488m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	3	761,076	4	759,618	0	0	1,458	99.8%
イ 導水施設整備事業	1	188,460	1	188,460	0	0	0	100%
ウ 浄水施設整備事業	14	90,688	1	27,540	0	0	63,148	30.4%
エ 配給水施設整備事業	94	2,395,707	44	1,729,690	14	74,574	591,143	75.3%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人件費)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素 0.4 mg/L 以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 2)	(測定戸数: 1)
平均	0.72	0.42	0.39	0.54	0.49
最低	0.64	0.19	0.20	0.33	0.39
最高	0.82	0.62	0.70	0.67	0.53

◎登米水道の放射性物質測定結果(検出されませんでした)

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H27.10.20	<0.5	<0.6	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H27.10.19	<0.5	<0.5	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H27.10.20	<0.4	<0.6	合ノ木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H27.10.20	<0.5	<0.5	—	—	—	—

特 記 事 項

1 下り松取水場築造工事関係者の合同工程会議

8日(木)午後1時30分から下り松の工事現場事務所で、工事施工関連業者が一同に会しての打ち合わせを行いました。

本体の築造工事は(株)日幸商會、機械電気設備工事は(株)明電舎東北支店、工事監理業務は(株)日水コン、導水管布設替工事は(株)渡辺土建とそれぞれ契約しております。

それぞれの担当分野の工事を2年から3年の複数年契約(継続費設定)で施工することになります。

これらの事業は、既存施設(導水管や排水管、高圧電気ケーブルなど)との連携や調整を行い、浄水作業をしながら慎重な工事を行う必要があります。

水道事業所と請負業者、請負業者間の連携を図り、災害に強い新たな取水システム構築に向け、安全に施工管理をしていくことを強く確認しました。



下り松取水ポンプ場完成予想図

2 石越浄水場水源でカビ臭確認、北上川は終息

23日(金)午後4時頃、迫川上流の栗原市館下浄水場からカビ臭物質検出との情報を受け、同じ河川を水源としている石越浄水場では同日より粉末活性炭を用いて臭いを取り除く処理をはじめました。

10月下旬になってからのカビ臭発生は初めての事ですが、大巻取水場で2-メチルイソボルネオール(2-MIB)は8~9ng/lを検出、活性炭処理後の浄水で2~3ng/lまで低減し、「水道水がカビ臭い」との苦情は寄せられていません。

カビ臭原因はダムや河川等に繁殖する藻類などが出すジェオスミンや2-MIBとされており水道水の基準値は10ng/l以下、臭いとして感じるのは8~10ng/lからといわれています。

なお、北上川では、上流の田瀬湖でのアオコの発生が昨年ほど顕著ではなく、下り松取水場の付近でのジェオスミン最高値で4ng/l、2-MIBは3ng/lで、活性炭注入状況は注入率、注入期間ともに昨年を大きく下回りました。

3 10月期災害訓練「無線の操作訓練」を実施

28日(水)午後2時、10月期の水道事業所災害訓練として、「無線の操作訓練」を実施しました。

震災時には無線が大いに活躍しましたが、最近では使用頻度が少なくなっており、昨年は無線器の操作訓練を行っていませんでした。

公用車で現場等へ出かけた想定で、「とめ水道の無線局」の開・閉局や現場と親局のやりとりをお互いにロールプレイングで訓練を行いました。

4 平成27年10月の漏水調査結果について

10月末の漏水調査の結果93件75.479m³/h(累計)の漏水を発見しています。

5 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏水調査結果表

施設	件数	漏水量(m ³ /h)
配水管	31	47.89
付属施設	7	1.19
給水管	55	26.399
計	93	75.479